

平成27年5月15日

国宝・重要文化財（建造物）の指定について

文化審議会（会長 宮田 亮平）は、平成27年5月15日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに1件の建造物（新規1件）を国宝、10件の建造物（新規9件、追加1件）を重要文化財に指定することを文部科学大臣に答申しました。

この結果、近日中に行われる官報告示を経て、国宝・重要文化財（建造物）は、2,437件、4,732棟（うち国宝222件、272棟を含む。）となる予定です。

◎今回の答申における特筆すべきもの

【国宝】 松江城 天守

島根県松江市

松江城は、亀田山に築かれた平山城で、慶長5年（1600）に出雲・隠岐の領主となった堀尾氏が築城した。同16年（1611）に完成した天守は、外観四重、内部五階、地下一階の形式で、正面の南面には玄関となる附櫓を設け、屋根はすべて本瓦葺である。

中国地方に唯一残る荘重雄大な四重五階の天守で、近世城郭最盛期を代表する建築であるとともに、我が国の城郭文化の様態をあらわしており、深い文化史的意義がある。

【重要文化財】 旧朝香宮邸

東京都港区

旧朝香宮邸は、昭和8年に朝香宮鳩彦王の住宅として建てられた。設計は宮内省内匠寮工務課、設計担当技師は権藤要吉で、主要室の内装設計をフランス人のアンリ・ラパンが担当した。鉄筋コンクリート造二階建、一部三階建で、簡明な意匠の外観としながら、内部は当時最新のフランスの芸術作品を主要室に配し、濃密で洗練されたアール・デコ意匠でまとめられている。宮内省内匠寮による邸宅建築の頂点のひとつとして、価値が高い。

【国宝 新指定の部】

- ① 中国地方に唯一残る^{そうちようゆうだい}荘重雄大な四重五階の天守（近世以前／城郭）

松江城天守 1棟

島根県松江市

松江市

松江城は、松江市街の中心部、^{かめだやま}亀田山に築かれた^{ひらやまじろ}平山城である。^{けいちょう}慶長5年(1600)に出雲・^{いずも}隠岐の領主となった^{ほりお}堀尾氏が、同12年より^{ちくじょう}築城を開始し、同16年にほぼ完成した。現在の天守はこの時につくられたものである。

外観は四重、内部五階、地下一階の形式で、正面の南面には玄関となる^{つけやぐら}附櫓を設け、屋根はすべて^{ほんかわらぶき}本瓦葺である。軸部は長さ二階分の^{とお ぼしら}通し柱を多用しており、周囲に^{つつみいた}包板を釘や^{かすがい おびてつ}錠、^{ぶざい ばんづけ}帯鉄で取り付けた柱も多数見られる。部材の番付は二種類に大別され、二階以下に用いられた^{ふんどうもん}分銅紋に「富」の字を刻む部材は、^{やすぎし とだじょう}安来市にあった^{とだじょう}富田城の部材と思われる。

松江城天守は、中国地方に唯一残る荘重雄大な四重五階の天守である。最近になって再発見された二枚の^{きとうふだ}祈禱札から、^{こうほう}慶長16年(1611)の完成が明らかとなった。

通し柱による^{こうほう}構法などの独自の建築的特徴を有し、近世城郭最盛期を代表する建築として極めて高い価値がある。防御性を重視した^{やまじろ}中世山城から、高層化して近世都市の基軸へと進展してきた我が国の城郭文化の^{ようたい}様態をあらわしており、深い文化史的意義がある。



【重要文化財 新指定の部】

① 富岡製糸場に続く官営の絹糸紡績工場（近代／産業・交通・土木）

旧新町紡績所 5棟

工場本館、機関室、修繕場、倉庫、
二階家煉瓦庫

群馬県高崎市

クラシエフーズ株式会社



旧新町紡績所は富岡製糸場から5年後の明治10年に明治政府が設立した絹糸紡績工場である。佐々木長淳を総括とし、ドイツ人の指導を受けながら大工の山添喜三郎ら日本人の手で建設された。明治42年まで操業を続け、その間工場の増築や建物の新築が図られてきた。工場本館のコの字形切妻造屋根部は官営期工場部で、独特なトラスなどに洋風建築の技術と日本在来の技術の併用が見られる。鋸屋根の増築部、煉瓦造の機関室や倉庫は、明治期の紡績工場の発展形態を示している。

旧新町紡績所は、希少な木造の工場建築がほぼ完全な規模で残り、明治初期の建築技術を良く示しており、高い歴史的価値がある。明治期の絹糸紡績工場唯一の遺構であり、絹糸紡績業の発展の過程を示すものとして、高い学術的価値が認められる。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの、学術的価値の高いもの

② フランス直輸入のアール・デコで濃密に飾った大邸宅（近代／住居）

旧朝香宮邸 4棟1基

本館、茶室、倉庫、自動車庫、正門、土地

東京都港区

東京都



旧朝香宮邸は港区白金台の台地上に位置し、朝香宮鳩彦王の住宅として昭和8年に竣工した。

設計は宮内省内匠寮工務課、設計担当技師は権藤要吉で、主要室の内装設計をフランス人のアンリ・ラパンが担当した。

本館は、鉄筋コンクリート造二階建、一部三階建である。外観は装飾を排した意匠としているが、内部はガラスのレリーフ、照明器具、壁画、彫刻などで装飾している。

旧朝香宮邸の本館は、簡明な意匠の外観としながら、内部は当時最新のフランスの芸術作品を主要室に配し、濃密で洗練されたアール・デコ意匠でまとめられている。宮内省内匠寮による邸宅建築の頂点のひとつとして意匠的に優れており、価値が高い。邸宅を構成している建築群や庭園も併せて保存を図る。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの

③ 江戸府内に残る大寺院本坊の中心的な建築と書院群（近世／寺院）

浅草寺伝法院 6棟

客殿, 玄関, 大書院, 小書院, 新書院, 台所

東京都台東区

浅草寺

浅草寺は古来より観音霊場として多くの信仰を集めた寺院である。伝法院はその本坊にあたり、中心伽藍の南西に位置している。

客殿は安永5年（1776）、玄関は翌6年の建築である。客殿は大規模な方丈形式の本堂で、仏壇を広く構える内陣三室を並べた平面構成に特徴があり、南には豪壮な玄関を設けている。書院群や台所は、明治後期から大正期に復興された建造物である。大書院は、室内の華麗な装飾、庭園の眺望に配慮した柱配置などに近代的な技巧を凝らしている。

浅草寺伝法院の客殿と玄関は規模雄大で、江戸府内で近世に遡る希少な大寺院本坊の中心的な建築として、高い歴史的価値を有している。近代に整えられた書院群と台所も優れた意匠と形式になり、庭園と融合した後方空間を構成する建築群として重要である。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの、歴史的価値の高いもの



④ 箱根路の近代化を象徴する洞門とアーチ橋（近代／産業・交通・土木）

国道一号箱根湯本道路施設 3基

函嶺洞門, 千歳橋, 旭橋

神奈川県足柄下郡箱根町

神奈川県

国道一号箱根湯本道路施設は、箱根山の東麓に位置する道路施設で、函嶺洞門、千歳橋、旭橋からなる。

函嶺洞門は、関東大震災によって崩壊した断崖の直下に築かれた、鉄筋コンクリート造の落石防護施設で、昭和6年の竣工である。

千歳橋と旭橋は、昭和5年と同8年に竣工した鉄筋コンクリート造単アーチ橋である。軟弱地盤を考慮し、基礎への負荷を軽減できるタイドアーチ形式を採用している。

国道一号箱根湯本道路施設は、自動車交通に対応した我が国初期の幹線道路施設で、国道一号の険路であった箱根路の近代化を象徴する施設として、近代道路史上、価値が高い。また、高度な鉄筋コンクリート技術を駆使して建設された、我が国初期の洞門とタイドアーチ橋で、昭和初期における道路構造物の技術的達成度を示す遺構として重要である。

○指定基準＝技術的に優秀なもの、歴史的価値の高いもの



⑤ 独特な構えと三階建座敷を持つ北前船主の大規模邸宅（近代／住居）

中村家住宅 10棟
主屋、新座敷、背戸蔵、新蔵、西蔵、
バンゲ蔵、前蔵、米蔵、塩物蔵・浜蔵、
正門、土地

福井県南条郡南越前町
一般財団法人冬青舎中村家保存会
個人



中村家住宅は、越前海岸沿いの狭隘な河野浦にある。北前船主の大規模邸宅で、敷地は西に敦賀湾をのぞみ、村道を挟んで山側に主屋、新座敷等、海側に土蔵群が並んでいる。

主屋は明治20年の建築である。高大なダイドコロと狭いニワ、簡明な本座敷に近世以来の伝統形式を継承しつつ、明かり窓や中廊下式の接客部などに近代的な萌芽が窺える。新座敷は大正2年の建築で、望楼を持つ三階建とし、繊細な数寄屋意匠を駆使したつくりになる。土蔵群は、ケヤキを多用するなど、近代的な指向も見られる。

中村家住宅は、充実した質と規模を有する主屋、趣向を凝らした繊細な意匠になる三階建の新座敷など、近代的な形式や造形が導入された和風建築として価値がある。屋敷構成は伝統を継承しつつも近代の発展過程を内包しており、宅地と併せて保存を図る。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの、流派的又は地方的特色において顕著なもの

⑥ 思子淵信仰を伝える室町前期の三棟の小社殿（近世以前／神社）

思子淵神社 3棟
本殿、蔵王権現社、熊野社
滋賀県高島市

思子淵神社

思子淵神社は、琵琶湖に注ぐ安曇川の支流、針畑川流域の山間部に所在し、筏流しによる木材搬送の守護神とされる思子淵神を祭神とする。

覆屋内に中央が本殿、南に蔵王権現社、北に熊野社の三棟が並んでいる。蔵王権現社は板札

より応安4年（1371）の建立で、他の二棟も同時期とみられる。いずれも一間社流見世棚造で、部材の大面取、ヤリガンナ仕上げなどの技法に、中世の特徴がみられる。

思子淵神社は、室町前期に遡る三棟の社殿を一体的に残す極めて稀な遺構であり、我が国の中世神社建築において重要である。安曇川流域において、独自の発展を遂げた思子淵信仰の様相を良好に伝える点でも、高い価値が認められる。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの、学術的価値の高いもの



⑦ 奈良公園の景観に合わせた純和風の教会堂（近代／宗教）

にほんせいこうかい なら きりすときょうかい
日本聖公会奈良基督教会 2棟
かいどう しんあいようち えんしや
会堂，親愛幼稚園舎

奈良県奈良市

日本聖公会奈良基督教会

学校法人親愛学園

日本聖公会奈良基督教会は、奈良市中心部、興福寺境内の西隣に位置している。

奈良県内で古社寺修理の経験を持つ大木吉太郎おおききち たらうの設計施工により、親愛幼稚園舎は昭和4年、会堂は同5年にそれぞれ竣工した。

会堂は本格的な三廊式教会堂であるが、勾配さんろうしきの緩い伸びやかな屋根、小組格天井こうばい、菱格子欄間こくみごうてんじょう ひしこうなど和風要素で構成されている。親愛幼稚園舎もほぼ同様の意匠からなり、間仕切を外せば会館としても使用することができる。

日本聖公会奈良基督教会は、奈良公園に隣接する立地条件から、純粋な和風意匠でつくられた教会堂建築である。古建築から着想を得た諸要素を巧妙にまとめ、各部のバランス、細部意匠とも秀逸で意匠的に優れている。古社寺修理から学んだ伝統的な要素を駆使し、教会堂として完成させた昭和初期の近代和風建築として、高い価値がある。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの



⑧ 地方の産業町に残る近代過渡期の芝居小屋しばいごや（近代／文化）

うちこざ
内子座 1棟

き たぐんうち ちちょう
愛媛県喜多郡内子町

内子町

内子は、明治時代を通じて製蠟業や製紙業で繁栄した。内子座は、大正天皇即位を記念し、町民の娯楽を目的として大正5年に建てられた。

木造、一部二階建て、正面軒唐破風付の入母屋のきからは ふつき いりも や造屋根、大棟には太鼓櫓おおむね たいこ やぐらを載せ、両脇に切妻きりづま造屋根の突出部を附属する。小屋はトラス組とし、内部は伝統的な和風芝

居小屋のつくりで、二階向正面の棧敷に枡の仕切りを設けるのは近代的である。

内子座は、部分的な欠失があるものの、主要部がよく残っており、地方の産業町に残る文化施設として貴重である。正面性を強調した外観、トラスの架構かこうや採光のガラス窓の多用、正面からの舞台鑑賞を意識した客席など、芸能に適応しはじめた近代過渡期の芝居小屋として、高い歴史的価値を有している。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの



提供：内子町

⑨ ^{そうとう そび} 双塔を聳えさせた^{そうれい れんがぞうきょうかいどう} 壮麗な煉瓦造教会堂（近代／宗教）

今村天主堂 1棟

福岡県三井郡大刀洗町

カトリック福岡司教区

今村天主堂は、^{ちくごがわ} 筑後川中流域の田園地帯、近世以来キリスト教信仰を守り続けたと伝わる今村という小集落に位置している。現在の天主堂は、数多くの教会堂を手掛けた^{てつかわ よすけ} 鉄川与助により、大正2年に完成した。



外観はロマネスクを基調として煉瓦積を表し、正面に八角形平面の双塔を据えている。内部は本格的な三層構成で、高いリブヴォールト天井とステンドグラスにより壮麗な内部空間を演出している。

今村天主堂は、北九州地域に数多く作られた煉瓦造教会堂で、平面規模、高さとも最大の規模を有し、類例の少ない双塔を聳えさせた壮観な正面構成、内部の本格的な三層構成、^{せいち} 精緻な細部装飾など、優れた意匠を示している。鉄川与助による煉瓦造教会堂の最も充実したもののひとつに位置づけられ、高い価値を有している。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの

【重要文化財 追加指定の部】

① ^{せんなん} 泉南地方における^{ごうのう} 豪農の屋敷の総合的な保存（近世以前／民家）

奥家住宅（大阪府泉佐野市南中樫井）1棟

西土蔵、土地

大阪府泉佐野市

個人

奥家住宅は、^{げんな} 元和2年（1616）に^{きのう} 帰農して当地に定着したとされる豪農の屋敷である。

泉佐野市南端部の大阪湾沿岸に位置し、紀州街道に沿って屋敷を^{おもや} 構える。主屋が享保12年

（1727）、^{おもてもん} 表門が19世紀前半、^{どぞう} 東側の土蔵が19世紀中頃と推定されている。これらは泉南地方の大型民家としての価値が認められ、昭和44年に重要文化財となった。

既指定の土蔵は発見された^{むなふだ} 棟札から明治3年の建築と判明した。西土蔵は既指定の土蔵の西に接続し、取り合い部から明らかに古く、19世紀初期の建築と推定される。

今回、既指定の建造物と一体的な価値を有している西土蔵を加え、塀や土地を追加指定するとともに名称と範囲を整理し、屋敷の構成や景観の総合的な保存を図る。

○指定基準＝流派的又は地方的特色において顕著なもの



〈個別解説凡例〉

番号 特 徴 (年代区分／種類別)

名 称 員 数

複数棟指定の場合の建造物の名称, 土地* 等

所 在 地

所 有 者

〈国宝・重要文化財の指定件数〉

(*建造物と一体をなして価値を形成している土地をあわせて指定するもの。)

平成 27 年 5 月答申

(国 宝)

	種 類 別	現在指定数		新規指定		合計	
		件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数
近世以前の分類	神 社	39	65			39	65
	寺 院	155	163			155	163
	城 郭	8	16	1	1	9	17
	住 宅	14	20			14	20
	民 家	0	0			0	0
	そ の 他	3	3			3	3
	小 計	219	267	1	1	220	268
近代の分類	宗 教	0	0			0	0
	住 居	1	1			1	1
	学 校	0	0			0	0
	文 化 施 設	0	0			0	0
	官 公 庁 舎	0	0			0	0
	商 業 ・ 業 務	0	0			0	0
	産 業 ・ 交 通 ・ 土 木	1	3			1	3
	そ の 他	0	0			0	0
小 計	2	4	0	0	2	4	
合 計		221	271	1	1	222	272

(重要文化財)

	種 類 別	現在指定数		新規指定		追加指定	合計	
		件数	棟数	件数	棟数	棟数	件数	棟数
近世以前の分類	神 社	569	1,203	1	3		570	1,206
	寺 院	855	1,169	1	6		856	1,175
	城 郭	53	235				53	235
	住 宅	95	153				95	153
	民 家	351	847			1	351	848
	そ の 他	193	261				193	261
	小 計	2,116	3,868	2	9	1	2,118	3,878
近代の分類	宗 教	27	41	2	3		29	44
	住 居	85	326	2	15		87	341
	学 校	41	80				41	80
	文 化 施 設	35	60	1	1		36	61
	官 公 庁 舎	25	30				25	30
	商 業 ・ 業 務	21	28				21	28
	産 業 ・ 交 通 ・ 土 木	73	245	2	8		75	253
	そ の 他	5	17				5	17
小 計	312	827	7	27	0	319	854	
合 計	2,428	4,695	9	36	1	2,437	4,732	